

第2回 小規模デイサービスなかはな 運営推進会議（会議記録）

開催日 令和2年11月

開催場所 新型コロナウイルス感染症のリスクを考慮し書面での開催。

委員 浜郷地区まちづくり協議会
通町自治会
民生委員
利用者家族代表
利用者代表
伊勢市東地域包括支援センター

内容

1 事業報告

○ご利用者 登録数：22人（11月現在）

前年同月は8人でしたが、275%増の22人となっており経営も安定してきました。男女別では女性がやや多く、年代は80歳代が約半数、要介護度は要支援2から要介護2が90%近くを占めています。

なお、地域別では東包括支援センター管内（黒瀬、通、一色、田尻、二見）が13名で、そのうち二見町8名、地元の通町が2名となっております。

1日の定員は10名で、平均して1日約8名の方にご利用いただいています。

○人員体制（11月現在）

職員は合計7名のシフト制で、常時3～4名体制が取れるように対応しています。

【内訳】 管理者（生活相談員兼務） 1名
介護職員（生活相談員兼務） 1名
介護職員 3名
看護職員（機能訓練指導員、介護職員兼務） 2名

○サービス提供内容

施設の送迎車による送迎で、到着後に看護職員による血圧や体温、健康状態の確認などを行います。主に午前中に入浴サービスと運動があります。入浴は一人ずつお湯を入れ替えて実施しています。昼食、休憩の後、レクリエーションを行い、疲れた時は横になって仮眠するなど、個々のペースでお過ごしいただくことができます。帰宅前におやつタイムがあり、その後ご自宅までお送りしています。サービス提供時間は9:45～15:15、提供日は月曜日～金曜日となっています。

ご利用者様一人ひとりに応じた細やかな対応ができるという小規模事業所のメリットを活かし、楽しく、充実した時間を過ごして毎日でも通いたいと思っていただけるよう、職員一丸となってサービス提供に努めています。

ご利用者様からは、「家にいると一人だが、ここ来るとみんなと会えて楽しい」「なかはな来ると時間が経つのが早い」など、うれしい声も聞かせて頂いています。

今年度の年間行事

実施月	行事名	内容、目的
4 月	お花見（実施済み）	近所の公園へ桜の花見物。季節を感じながら、公園内を散策して身体機能の向上を図るとともに、リフレッシュして頂きました。
8 月	避難訓練（実施済み）	災害時の備えと防災意識の向上を目的として実施。火災発生を想定して避難誘導訓練と、啓発ビデオの視聴、意見交換を行いました。
9 月	敬老会（実施済み）	多年にわたり社会に尽くしてきた高齢者を敬愛し、長寿を祝うことを目的に開催。ビンゴゲームを実施し、デイサービスご利用時の写真をアルバムにしてプレゼントしました。
10 月	運動会（実施済み）	運動会シーズンに合わせ、玉入れ、風船バレーボールなど、無理なく行えるプログラムを組んで施設内で開催しました。皆さま一生懸命、楽しそうに参加され、お互いに協力したり競い合うことで心身の活性化ができました。
11 月	市内ハイキング	夫婦岩などの散策を通して、屋外での機能訓練とリフレッシュを図ります。
12 月	クリスマス会	クリスマスツリーの制作、歌、出し物など。行事を通して季節感を感じるとともに、心身のリフレッシュを図ります。
	避難訓練	災害時の備えと防災意識の向上を図ります。
1 月	正月行事	餅菓子づくり、ミニ門松づくり、福笑いゲーム、新年の抱負など。季節行事による心身のリフレッシュと手作業による機能訓練で、身体機能の維持、向上を図ります。
2 月	豆まき	伝統的な豆まきを模した玉当てゲームなどを実施。豆の代わりに甘納豆などを食す。季節を感じ、体を動かすことで心身機能の維持、向上を図ります。
3 月	お雛さまめぐり二見	お雛さまめぐり二見を散策することで、季節感を感じるとともに、屋外での機能訓練、リフレッシュを図ります。

2 地域との交流事業について

昨年はパン作り体験教室を7月に実施し、地元の方々にご参加頂きましたが、今年は新型コロナウイルス感染症もあり実施を見送っています。地域の方々にかかれた事業所となるために交流事業を継続していくところは重要と考えていますので、今後の状況を見ながら検討していきます。

委員からの意見

- ・利用者数が増えうれしく思っている。
- ・コロナ禍で各地のイベントが中止になっていく中、毎月行事を実施して利用者様も楽しみにしていると思う。手伝えることがあれば声をかけてください。
- ・町内の民生委員主催の会食会は中心になっている。三密を避けることは難しく、いつから再開すればいいか検討している。